

単元名	大田区の伝統 海苔文化を広めよう(第6学年)		
内容	B 地域の創生 (キ)	総時間数	20
目標	海苔を使ったレシピの開発を通して、大田区の手苔の販売を行う人々の取組や思いに気付き、レシピ開発に関するアイデアを創出したり、食に関する課題と関連させた工夫を考えたりするとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・海苔について知っていることや疑問を共有し、調べる。 ・授業パートナー守半海苔店の方から、海苔の歴史を教えてもらい、「海苔を使ったレシピを開発し、商品を販売することで、大田区の手苔の良さを広める」というミッションをもらう。 ・身近な人(家族など)に海苔をどのように調理に活用しているかをインタビューする。 ・海苔の料理について分かったことや困りごとを共有し、自分はどんな海苔料理のレシピ開発をしたいか考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・守半海苔店 ・Google フォームを使ったインタビュー調査
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で海苔を使ったレシピを発想・デザインする。 ・海苔を使ったレシピを発想・デザインする。 ・グループでコンセプトに合うレシピの内容を話し合って決める。 ・考えたレシピを実際に調理して試し、レシピを提案する。 ・調理したことを振り返り、海苔のレシピがより良くなるように改善したり工夫したりする。 ・自分たちの考えたレシピの魅力を手夫して伝える。(中間発表) ・授業パートナーからのアドバイスをもとに改良し、レシピを完成させて商品化の承諾を得る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・守半海苔店 ・地域の飲食店 ・家庭科教科書「こんだてを手夫して」
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したレシピを、地域の飲食店に商品化してもらう。 ・自分たちの考えたレシピをプレゼンできる資料を作成し、レシピの魅力を手夫して(学習発表会や社会を明るくする運動等を通して)地域の方々へ伝える。(最終発表) ・実際に販売し、地域の方々へ手苔の良さを広める。 ・守半海苔店の方にフィードバックをいただく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・守半海苔店 ・地域の飲食店 ・Google スライドによるプレゼンテーション
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、独自教科で内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を手夫すること。 ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 		4
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。 		1
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。 		3
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。 		3
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。 		9